



岐阜出身の加藤孝司は、グラフィックデザイナーの魁です。洒脱でモダンなセンスで全国的に活躍しました。シャープで質感に優れ、高度な手作業の気配が美しい孔版印刷の作品群を一挙に公開いたします。デザインと印刷文化に焦点をあてた当館初の企画です。

展覧会名	グラフィックデザインの曙—加藤孝司とシルクスクリーン
会 場	岐阜県美術館 展示室2（岐阜市宇佐 4-1-22）
会 期	令和7年11月26日(水)－令和8年3月15日(日) ※休館日：毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日) ※夜間開館：令和7年12月19日(金)、令和8年1月16日(金)は午後8時まで ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料 金	一般 340(280)円 大学生 220(160)円 高校生以下無料（内）内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証 または登録証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料 ＊マイクロ IDが利用できます
主 催	岐阜県美術館
協 力	株式会社岐阜セラツク製造所、株式会社昭和紙工 大東化工株式会社、株式会社ミノグループ

■最新の情報は岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1313(代表) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

広報担当：小野由加里

担当学芸員：鳥羽都子

美術館の情報を発信しています



県美術館
Web サイト



公式Facebook



公式Instagram



公式X

本展覧会について

本展では、加藤孝司(1916-1998)や同時代のデザイナーの作品及び美濃紙業所(現ミノグループ)秘蔵のカレンダーコレクションを一挙に公開いたします。加藤は、戦後いちはやくデザイン事務所を興し、グラフィックデザイナーの魁として活躍した一人です。知的でモダンなセンスと鮮やかな構成で頭角を現すと、地元有力企業や百貨店などのポスターを手掛け、日本宣伝美術会(日宣美)の審査員や大阪万博のデザインコンペに招聘されるなど最前線で活躍し、その作品は、ニューヨーク近代美術館(MoMA)にも収蔵されています。

戦後、政治経済活動や文化発信が東京に一極集中していくなか、あえて岐阜に軸足をおいた加藤と、岐阜の文化産業史にも目を向け、加藤とシルクスクリーンを起点に、それが生み出された背景も紹介します。デザインや印刷文化に焦点をあてた岐阜県美術館初の企画となります。また、ガリ版原紙最後の蝶引き職人の貴重な光景も現代美術家・藤井光による映像で録します。

本展を機に、地域から見る日本のデザイン史の一面のイメージが浮き上がれば幸いです。

加藤孝司 略年譜

1916	大正 5 年	岐阜市生まれ
1923	大正 12 年 (7歳)	岐阜市岐阜尋常小学校入学
1929	昭和 4 年 (13歳)	岐阜市岐阜高等小学校入学
1930	昭和 5 年 (14歳)	岐阜市岐阜高等小学校卒業、金華商業実務学校夜間部入学
1932	昭和 7 年 (16歳)	金華商業実務学校夜間部卒業 家業の左官手伝い(横山石版画工所)に画工として弟子入り
1938	昭和 13 年 (22歳)	内閣情報部ポスター公募 佳作
1939	昭和 14 年 (23歳)	防空防火ポスター公募 2等1席
1942	昭和 14 年 (26歳)	第11回産業美術振興運動展 新聞広告部門公募 入賞
1943	昭和 18 年 (27歳)	小木曾ゆきと結婚
1945	昭和 20 年 (29歳)	岐阜市司町にあった進駐軍から仕事を得る。商業デザイナーとして仕事を始める。
1946	昭和 21 年 (30歳)	独立して「かとうこうじデザインルーム」を主宰し【商業デザインの時代】
1949	昭和 24 年 (33歳)	第2回岐阜市展で《丸宮デパート》が岐阜タイムス賞。この頃、のちに「こぐまちゃんえほん」シリーズで知られる絵本作家となる若山憲が加藤の事務所に務める。
1950	昭和 25 年 (34歳)	第1回加藤孝司個展(丸宮百貨店)
1951	昭和 26 年 (35歳)	第1回日宣美展出品。
1955	昭和 30 年 (39歳)	孝司作確認できる最初のシルクポスター アド・アート 3 人展(加藤孝司、斎藤八郎、狭間寿朗)(丸宮百貨店)、日宣美岐阜展(山名文夫氏、大智浩氏来岐)(丸宮百貨店)
1956	昭和 31 年 (40歳)	この頃、十六銀行や丸宮百貨店がクライアント。ベンテンドーのマークをつくる。
1958	昭和 33 年 (42歳)	宣伝デザイン 3 人展(加藤孝司、斎藤八郎、狭間寿朗)(新岐阜百貨店)
1959	昭和 34 年 (43歳)	第12回 GCA 商業デザイン展(後に MoMA 収蔵《グランドインサツ》を出品)(丸物百貨店)
1961	昭和 36 年 (45歳)	日宣美中央委員、審査委員(~1967)
1964	昭和 39 年 (48歳)	作品集『No.1』刊行。
1966	昭和 41 年 (50歳)	作品集『No.2』刊行。 大阪万博シンボルマークコンペに指名される。
1970	昭和 45 年 (54歳)	当時の事務所名称、加藤孝司デザイン研究室【グラフィックデザインの時代】
1971	昭和 46 年 (55歳)	加藤孝司デザイン研究室、名古屋事務所(上前津)を開設。 大病を患う
1990	平成 2 年 (74歳)	この頃のクライアントに、十六銀行、東海銀汚行職員組合、メガネの賞月堂、三品物産。
1998	平成 10 年 (81歳)	MoMA に《グランドインサツ》が収蔵される
1999	平成 11 年	逝去 日本のパイオニア世代展(日本国際ポスター美術館)。

本展の見どころ

1 デザインや印刷文化に焦点をあてた岐阜県美術館初の企画

孔版印刷は、版に孔(あな)を作り、そこにインクを通すというシンプルな製版・印刷の仕組みです。謄(とう)写版(ガリ版)やシルクスクリーンはその代表です。

謄写版は、「ガリ版」という愛称で親しまれ、明治・大正・昭和を通して最も身近な印刷術でした。版となる「謄写版(ガリ版)原紙」に薄く強靭な日本の和紙、特に美濃の雁皮紙が最適でした。戦後の岐阜で発達した、グランド印刷(を祖とするスクリーン印刷産業)もまた、元を辿れば謄写版(ガリ版)に至ります。

紙の原料商、製紙業者、販売者やそこに関わる技術者が、岐阜の素材や人脈、流通網を使いながら発展するデザインや印刷文化の歴史を展示します。

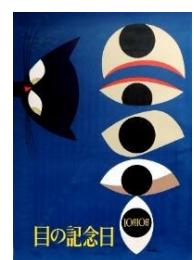


鉛筆原紙の原料にする「雁皮」を干す

1936頃(昭和11頃) 写真 大東化工株式会社

2 加藤孝司のしごとから厳選したグラフィックデザインの作品群を一挙に公開

加藤孝司(1916-1998)は、戦後いちはやくデザイン事務所を興し、知的でモダンなセンスと構成の鮮やかさでデザイン界を牽引しました。地元企業や百貨店などのポスターを手がけ、日本宣伝美術会(日宣美)の審査員や大阪万博のデザインコンペに招聘されるなどグラフィックデザインの最前線で活躍しました。加藤の豊富なしごとから厳選した手描きのポスター、シルクスクリーン印刷によるポスター、晩年のイラストレーション作品を中心に紹介します。



加藤孝司《眼の記念日》1955年

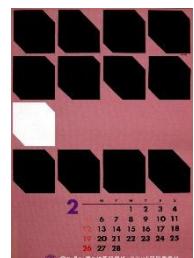
シルクスクリーン 個人蔵

3 美濃紙業所のカレンダーの初展示 エフェメラの魅力

シルクスクリーン産業は、美濃和紙を使った謄写版(ガリ版)原紙生産の後継として成長を遂げた岐阜の文化産業です。シルクスクリーン印刷は、「グランド印刷」と名付けられ、謄写版(ガリ版)原紙を製造販売していた美濃紙業所は、グランド印刷の資器材の開発を始めました。版をつくるためのカッティング原紙(グランド原紙)に塗布されたのが岐阜で精製された「シェラック」です。美濃雁皮紙にシェラックニスを塗布してグランド原紙の製造し、各務原の機(はた)屋からシルクを仕入れてスクリーンも作るようになりました。

グラフィックデザインが日本社会に認知されだした1957年、美濃紙業所はデザイナーを起用したカレンダーを初制作します。そこから約10年間に亀倉雄策、杉浦康平をはじめ40人近いデザイナーが協力し、グランド印刷のカレンダーが制作されました。

カレンダー、ポスター、チケットなど短期的に使われては失われてゆく印刷媒体を「エフェメラ」といいます。近年、短命だからこそ時代の空気を捉え得る文化として注目されています。1950~60年代に制作された美濃紙業所のカレンダーを多数展示します。その年ごとのメンバーや表現の傾向にもご注目ください。



加藤孝司《美濃紙業所カレンダー1961前半

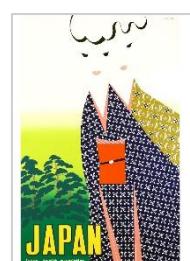
(2月/ピンクに白黒)1961年 グランド印刷

ミノグループ蔵

4 岐阜の文化産業グランド印刷×グラフィックデザイン の競演

美濃紙業所は菅野一郎を所長に立て、グランド印刷を広めるために無償で技術を教える「グランド印刷研究所」を開設します。その講師を務めたのが、天才的なプリンター・永瀬史朗でした。永瀬による刷りは、繊細な色のグラデーションや細かなカッティングが実現され、広い面もグランド印刷らしい滑らかで濃密な表現を示しています。

永瀬史朗が刷り、氏から岐阜県美術館に寄贈されたポスターのコレクションを展示します。デザイン界のオピニオンリーダーであった大智浩をはじめとしたグラフィックデザイナーによるデザインと、永瀬史朗の刷りによるグランド印刷の競演をご覧いただけます。



デザイン:大智浩 制作:永瀬史朗

《観光ポスター(JAPAN)》制作年不詳

グランド印刷 岐阜県美術館蔵

5 95歳の職人による最後のガリ版原紙口ウ引き作業の映像

ガリ版印刷の版を作るための専用用紙「ロウ原紙」は、雁皮紙に蝋を薄く均一にコーティングしてつくられます。贋写版(ガリ版)原紙の二大産地は、高知県と岐阜県でした。岐阜では、原材料の仕入れは長良川の川湊、雁皮紙の紙漉きは板取川上流の御手洗、御手洗から雁皮紙が荷車で運ばれ、神洞で軸線を活版印刷し蝋引き加工を行うといったように、生産から物流まで、清流とその周辺集落で育まれました。

戦後の最盛期には、全国シェアの8割程度が岐阜から出荷され、100軒以上の加工屋が美濃にあったといいます。しかし、小規模家内生産に支えられてきた美濃のガリ版の歴史は、広く知られることなく急速に消えていきました。

職人の技は、地域の歴史や風土のなかで、人々の知恵と工夫が積み重なって育まれたものです。本展のために行われた、95歳の職人による最後のガリ版原紙のロウ引き作業を、現代美術家・藤井光による映像でご覧ください。



藤井光《ガリ版原紙の現在》

2025年 岐阜県美術館蔵

関連プログラム

■令和7年12月13日(土)14:00-15:00 展示室2

加藤孝司とシルクスクリーンの魅力／加藤由朗(加藤孝司長男・デザイナー)

■令和7年12月19日(金)18:30-19:30

令和8年1月31日(土)14:00-15:00 展示室2

担当学芸員によるギャラリートーク／鳥羽都子(担当学芸員)

■令和8年3月1日(日)14:00-15:30 講堂

美術講座 ガリ版からシルクスクリーンに続く物語／鳥羽都子(担当学芸員)

※関連プログラムに変更がある場合もございます。最新情報は岐阜県美術館Webページでご確認ください。

同時開催

◆生誕120周年 坪内節太郎／没後130周年 牧野伊三郎

令和7年11月5日(火)-令和8年3月29日(日)

◆ルドンと音楽

令和7年11月5日(火)-令和8年3月29日(日)

◆見慣れない風景

令和7年11月5日(火)-令和8年3月29日(日)

◆AiM Vol.18 向井 大祐

令和7年10月30日(木)-12月14日(日)

◆大正・昭和‘モード’の源泉－国立美術館コレクション・ダイアローグ－

令和7年11月15日(土)-令和8年2月15日(日)

◆ぎふの日本画 冬来たりなば 春遠からじ —岐阜県ゆかりの画家が描いた花鳥—

令和7年12月2日(火)-令和8年3月29日(日)

◆—モンスーンに吹かれたように— 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術

令和8年3月2日-6月14日(日)

岐阜県美術館 企画展

グラフィックデザインの曙—加藤孝司とシルクスクリーン

The Dawn of Graphic Design:
KATO Koji and Silkscreen Prints

広報画像貸出申込書

FAX 送信番号:058-271-1315



貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名:)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載／放送	月	日	発売・放送(月号)／発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

はい 画像データ到着希望日(月 日) いいえ(写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

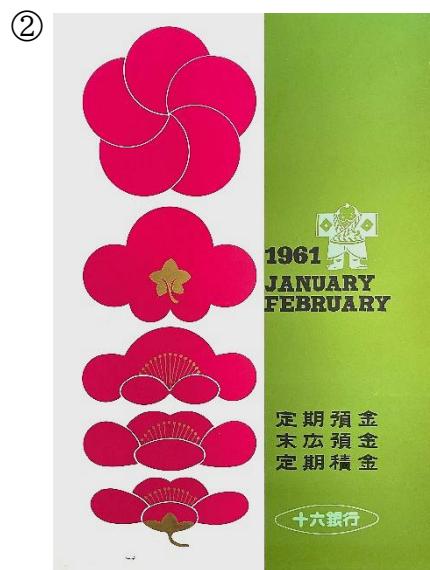
下記キャプションの作品名称、所蔵、クレジットを必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	加藤孝司《グランド印刷》1965年 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	加藤孝司《十六銀行 1961年 1・2月》1961年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	③	加藤孝司《Olivetti blue》1960年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	④	加藤孝司《美濃紙業所カレンダー1961年2月》1961年 ミノグループ蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	大智浩《観光ポスター・JAPAN》制作年不詳 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	加藤孝司《ざふ鵜飼》1955年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	加藤孝司《作品集 no.1 より「ア」》1961年 個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	藤井光《ガリ版原紙の現在》2025年 岐阜県美術館蔵

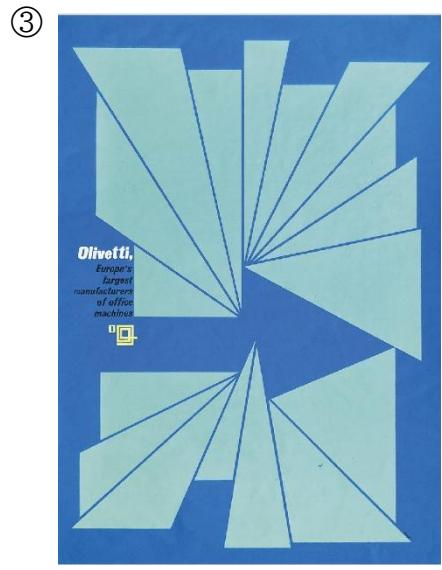
■広報画像一覧



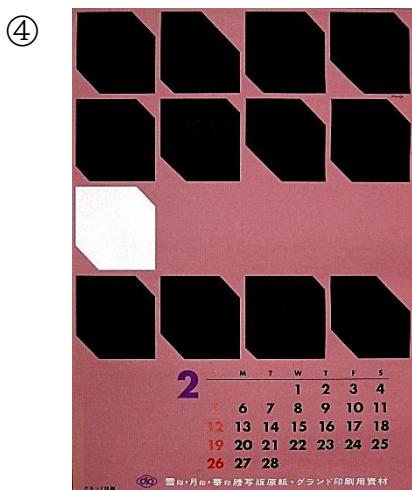
加藤孝司《グランド印刷》
1965年 岐阜県美術館蔵



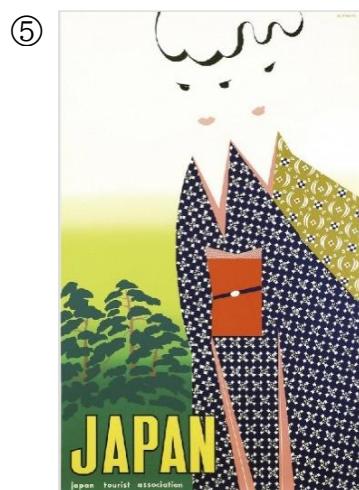
加藤孝司《十六銀行 1961年 1・2月》
1961年 個人蔵



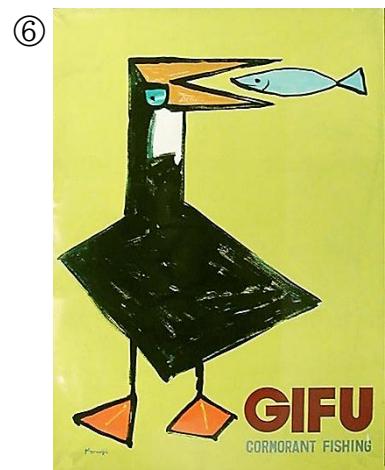
加藤孝司《Olivetti blue》
1960年 個人蔵



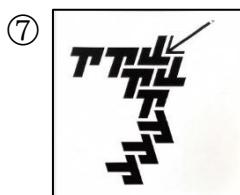
加藤孝司《美濃紙業所カレンダー1961年 2月》
1961年 ミノグループ蔵



大智浩《観光ポスター・JAPAN》
制作年不詳 岐阜県美術館蔵



加藤孝司《ぎふ鵜飼》
1955年 個人蔵



加藤孝司《作品集 no.1 より「ア」》
1961年 個人蔵



藤井光《ガリ版原紙の現在》
2025年 岐阜県美術館蔵

【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。